

コミック基礎

担当教員 石山さやか

受講アトリエ【602】

2024/10/22(火)-2025/01/21(火)

9:20-12:30

授業内容

『漫画』とはそもそも何か、実際の漫画作品やその表現の多様性を眺めつつ、自分でも短い漫画作品を作ってみます。現代の漫画作品の発信方法やデビューまでの道筋、また制作の基本的な工程についても学びます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月22日	火	○	オリエンテーション			講師自己紹介
2	10月29日	火	○	みんなの自己紹介①			課題1「自分を“キャラ”として紹介してみよう」
3	11月5日	火	○	みんなの自己紹介②			課題2「好きな漫画をプレゼンしてみよう」
4	11月12日	火	○	講義「漫画を描く手順」 「テーマを見つける発想法」			課題3「できごとを漫画にする」
5	11月19日	火	○	制作指導			
6	11月26日	火	○	課題3・講評			
7	12月3日	火	○	制作指導			課題4「ページ漫画を描いてみよう」
8	12月10日	火	○	制作指導			
冬季休校							
9	1月14日	火	○	制作指導			
10	1月21日	火	○	課題4・講評			

学習目標

まずは漫画というものに触れ、親しんでみます。自分が今まで見てきた以外にも様々な表現方法の漫画が存在すること、言いたいことや見せたいものによって構成も描き方も変わってくることを、実際に手を動かすことで学びます。

予習・準備物

アンケートを終わらせておいてください。

注意事項

進捗チェックの日も短めの講義をします。全日出席しましょう。

評価方法

課題作品：70% 制作態度・積極性：30%

イラストレーション基礎

担当教員 花島百合

受講アトリエ 【602】

2024/11/06(水)- 2024/11/25(月)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

イラストレーションの仕事において求められる事・物を企画。アイデアを通して学ぶ。イラストレーションのマーケットでのオリジナリティー、個性の重要性を作品制作で体験する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	11月6日	水		視覚文明史	○	オリエンテーション	花島	
2	11月7日	木		英語		エディトリアルデザイン基礎		
3	11月8日	金		デザイン術				
4	11月9日	土		専攻別オリエン	○	制作指導	花島	
5	11月10日	日						
6	11月11日	月		Mac講座B	○	制作指導	花島	
7	11月12日	火		コミック基礎				
8	11月13日	水		視覚文明史				
9	11月14日	木		英語		エディトリアルデザイン基礎		
10	11月15日	金		デザイン術	○	制作指導	花島	
11	11月16日	土				就職セミナー		
12	11月17日	日						
13	11月18日	月		Mac講座B	○	制作指導	花島	
14	11月19日	火		コミック基礎				
15	11月20日	水		視覚文明史		社会連携1		
16	11月21日	木		英語		エディトリアルデザイン基礎		
17	11月22日	金		デザイン術				
18	11月23日	土	勤労感謝の日					
19	11月24日	日						
20	11月25日	月		Mac講座B	○	講評	花島	

学習目標

イラストレーションの仕事と自分らしい表現の発見。

予習・準備物

鉛筆、着彩道具、クロッキー帳等

注意事項

評価方法

課題提出による採点

1年生 ビジュアルデザイン科

グラフィックデザイン基礎(VD科)

担当教員 草谷隆文

受講アトリエ【602】

2024/10/19(土)-2024/11/05(火)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

実際にアドタイピングを制作することによりアイディアの出し方、企画の考え方のトレーニングを学びます。学生同士のディスカッションも行います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	補足
1	10月19日	土			○	ガイダンス、課題説明	
2	10月20日	日					
3	10月21日	月		Mac講座B		制作	
4	10月22日	火		コミック基礎		制作	
5	10月23日	水		視覚文明史 制作	○	制作のチェックと指導	
6	10月24日	木		英会話		エディトリアルデザイン基礎	
7	10月25日	金		制作 デザイン術		制作	
8	10月26日	土		制作	○	制作のチェックと指導	
9	10月27日	日					
10	10月28日	月		Mac講座B		制作	
11	10月29日	火		コミック基礎	○	制作のチェックと指導	
12	10月30日	水		視覚文明史 制作		制作	
13	10月31日	木		英会話		エディトリアルデザイン基礎	
14	11月1日	金		制作 デザイン術	○	制作のチェックと指導	
15	11月2日	土		制作		制作	
16	11月3日	日					
17	11月4日	月		Mac講座B		制作	
18	11月5日	火		コミック基礎	○	講評	

学習目標

アイディアと技術を具現化するためのじつ作業の流れを身につけ、グラフィックデザインの基礎を学びます。

予習・準備物

自分がやってみたいYouTubeのサムネイルを作ってきてください。(内容は自由です)

Illustratorを使用してA4コピー用紙の中央に左右幅200mm,天地112.5mmの枠の中に収めてデザインすること。

注意事項

評価方法

提出課題による採点

MAC講座B

担当教員 高林直俊

受講アトリエ 【401】

2024/10/7(月)-2025/01/27(月)

※前期に引き続き、AグループとBグループに分けて指導を行います。

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

基礎的なPCの使い方から更にIllustratorおよびPhotoshopの応用技術や知識を身につけるための授業を行います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	10月7日	月	○	Mac講座Bの流れ			前期課題の確認	
	10月14日	月		スポーツの日				
2	10月21日	月	○	レイアウト前半			【Illustrator】 文字組・書体・画像配置・レイアウト 【Photoshop】 色調補正・レイヤー理解力・キリヌキ	
3	10月28日	月	○	レイアウト後半				
4	11月4日	月	○	レイアウト【ミニ課題】				
5	11月11日	月	○	理解力テスト【提出】			基礎知識20問	
6	11月18日	月	○	テスト答え合わせ & 課題説明				
7	11月25日	月	○	年賀状の作成【課題】			【評価の基準】 全体のバランスをベースに スケジューリング・構成力・技量・センス アイデア・制作に対する意識	
8	12月2日	月	○	制作進行 & 中間チェック				
9	12月9日	月	○	制作進行 & 【課題提出】				
冬季休校								
	1月13日	月		成人の日				
10	1月20日	月	○	ミニポートフォリオの作成【課題】			【評価の基準】 今まで制作した作品を10点選んで来てもらい ポートフォリオを作成する	
11	1月27日	月	○	ミニポートフォリオの作成【課題提出】				

学習目標

前期に引き続き、更にプロとして必要となるイラストレーターとフォトショップの知識とスキルを身につけることを目指します。

予習・準備物

毎授業USBメモリは必須となります。その他何か必要な場合は事前に告知します。

注意事項

少しスピード感とテンポ感を持って授業の方が進んで行くと思います。出来る限り参加してください。

評価方法

課題作品 50% 制作態度 50%

1年ファインアート科

MAC講座B

担当教員 濱迫 萌
受講アトリエ [401]

2024/10/02(水)- 2025/01/29(水)
11:00-12:30

引き続きIllustrator・Photoshopの基礎的知識を身につけながら、アプリケーションの理解力を掘り下げた授業を行っていきます。また前期以上にデザインやスキルの技術向上なども求めていきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	10月2日	水	○	視覚文明史	講座Bの流れ・おさらい	実技カリキュラム		
2	10月9日	水	○	視覚文明史	名刺サイズのZINE 作成	実技カリキュラム	【Illustrator】 文字組・書体・カラーリング・レイアウト 【Photoshop】 色調補正・レイヤー理解力・合成功	
3	10月16日	水	○	視覚文明史	制作	実技カリキュラム		
4	10月23日	水	○	視覚文明史	制作	実技カリキュラム		
5	10月30日	水	○	視覚文明史	制作	実技カリキュラム		
6	11月6日	水	○	視覚文明史	制作	実技カリキュラム		
7	11月13日	水	○	視覚文明史	提出・講評	実技カリキュラム		データ・出力どちらも提出
8	11月20日	水	○	視覚文明史	DM or 年賀状 作成	実技カリキュラム		
9	11月27日	水	○	視覚文明史	制作	実技カリキュラム		
10	12月4日	水	○	視覚文明史	制作	実技カリキュラム		
11	12月11日	水	○	視覚文明史	提出・講評	実技カリキュラム	データ・出力どちらも提出	
冬季休校								
12	1月8日	水	○	視覚文明史	データ作品 作成	実技カリキュラム		
13	1月15日	水	○	視覚文明史	提出	実技カリキュラム		
14	1月22日	水	○	視覚文明史	データ作品 作成	実技カリキュラム		
15	1月29日	水	○	視覚文明史	提出	実技カリキュラム		

学習目標

デザイン時に必要となる、印刷物（紙媒体）をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。

予習・準備物

必要な場合は事前に告知します。（USBメモリとメモ出来るものは毎回必須）

注意事項

授業スケジュールは、進み具合により前後します。

評価方法

授業態度および課題提出による採点。

1年生 ファインアート科						更新2024/09/20								
フレスコ画(FA科)														
担当教員		杉崎匡史												
受講アトリエ		【601】								2024/10/19(土)- 11/05(火)				
										9:20-12:30 / 13:30-16:30				
授業内容		<p>古典技法としてのフレスコ画技法を模写を通して試みる。物質が変化していく、その体験を目の当たりにしながら、実直に絵と向き合う時間に身をゆだね、その中で自身の展開に繋がられるのか考えてみる。</p>												
授業スケジュール/計画														
		指導	AM				指導	PM				備考		
1	10月19日	土	○	ガイダンス・モルタル作り・フレスコはがし					原画選択・拡大コピー				白黒・カラーコピー説明	
2	10月20日	日												
3	10月21日	月	○	モルタル再練り・地塗り(下塗り)・壁あらし					線香穴あけ				カルトネ説明	
4	10月22日	火		漫画と絵画				○	中塗り・シノピア・壁あらし				シノピア説明	
5	10月23日	水		視覚文明史	Mac講座A				○	モルタル再練り・上塗り①・養生				ジョルナータ説明
6	10月24日	木		英会話				○	壁押さえ・描画①・上塗り②・養生				描画説明・塗りつき説明	
7	10月25日	金		日本美術史B					壁押さえ・描画②					
8	10月26日	土		モルタル再練り・上塗り③・壁押さえ・描画③				○	描画③つづき					
9	10月27日	日												
10	10月28日	月		モルタル再練り・上塗り④・壁押さえ・描画④					描画④つづき・上塗り⑤・養生					
11	10月29日	火		漫画と絵画				○	壁押さえ・描画⑤・上塗り⑥・養生					
12	10月30日	水		視覚文明史	Mac講座A				○	モルタル再練り・壁押さえ・描画⑥・上塗り⑦・養生				
13	10月31日	木		英会話					壁押さえ・描画⑦・上塗り⑧・養生					
14	11月1日	金		日本美術史B					描画⑧					
15	11月2日	土		モルタル再練り・上塗り⑨・壁押さえ・描画⑨					描画⑨つづき					
16	11月3日	日												
17	11月4日	月		モルタル再練り・上塗り⑩・壁押さえ・描画⑩					描画⑩つづき・完成					
18	11月5日	火		片付け				○	講評会					
学習目標		<p>油彩画以前の一つの古典技法であるフレスコ画技法は、消石灰と砂を混ぜたもので漆喰壁を作り、その壁が乾き切らぬうちに顔料を水のみで溶いて描ききるもので、空気中の二酸化炭素と反応した石灰成分が顔料を閉じこめ、半永久的に壁画は色褪せることがない。壁や石灰といった素材の強さにおいては代え難いものがあり、光沢の無い自然な質感や、制約の中で必要とされる高い集中力、五感だけでなく身体を目一杯使って体感することなど、その中に潜む一つの可能性を探求する。</p>												
予習・準備物		<p>プチパレット、ペーパーパレット、やわらかい丸筆平筆・彩色筆・刷毛(小)・面相筆など、(豚毛不可)、筆洗用具(大)、汚れても良い服装、箱ティッシュ、ペインティングナイフ、サララップ、マスキングテープ、ハンドクリーム等</p>												
注意事項		<p>制作工程を踏まないとフレスコ画になりません</p>												
評価方法		<p>提出課題による採点、制作への工夫、共同作業への積極的な参加</p>												

シルクスクリーン基礎

担当教員 東樋口徹

受講アトリエ 【602】

2024/10/1(土)- 10/18(金)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

基本的な水性インクで紙に刷る4版以上を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙8枚程度）制作。

授業スケジュール/計画

		指導	AM	指導	PM	備考	
1	10月1日	火	FA漫画と絵画・VDアニメ	○	オリエンテーション、技法説明		
2	10月2日	水	視覚文明史 FA Mac	○	技法説明(製版)		
3	10月3日	木	英会話		VDエディトリアル		
4	10月4日	金	FA日本B・VDデ論	○	技法説明(刷り)		
5	10月5日	土	VDアニメ		同窓会イベント		
6	10月6日	日					
7	10月7日	月	MacVD		制作		
8	10月8日	火	FA漫画と絵画・VDアニメ	○	制作		
9	10月9日	水	視覚文明史 FA Mac	○	制作		
10	10月10日	木	英会話		VDエディトリアル		
11	10月11日	金	日本B・VDアニメ		制作		
12	10月12日	土		○	制作		
13	10月13日	日					
14	10月14日	月	スポーツの日				
15	10月15日	火	FA漫画と絵画		制作		
16	10月16日	水	視覚文明史	○	制作		
17	10月17日	木	英会話		VDエディトリアル		
18	10月18日	金	FA Mac/日本B・VDアニメ	○	講評		

学習目標

シルクスクリーンは別名孔版と呼ばれ、型染めの型紙と紗が組み合わされて改良されたものです。枠に張った紗の目を unnecessaryな部分は塞ぎ、画の孔（穴）の部分からスキージによって下の紙にインクを落として刷る技法です。授業においてはいくつかの製版方法がありますが、現在一般的に行われる直接感光法を学びます。基礎を身に付け各自のイメージに近づける作品作りを目指します。

予習・準備物

下絵、紙コップ、プラスチックスプーン、ウエス（ポロ布）、新聞紙、用紙（いずみ中判4枚またはA3厚紙ケント紙8枚分）、制作マニュアル、マスキングテープ、試し刷り用紙（なんでも可）

注意事項

初日までに下絵(アイデアスケッチ)を用意すること。

授業では汚れても良い格好(エプロン等)をしてください。

評価方法

習熟度と提出課題による採点

エディトリアルデザイン基礎

担当教員 奥定泰之

受講アトリエ【602】

2024/9/5(木)- 2024/1/23(木)

13:30-16:30

授業内容

エディトリアルデザインとは、ブック（本や雑誌など）をデザインする（仕組みを考える）ことです。この講座では、平面のグラフィック（ポスターやチラシ）とは違うブックの構造を考え、実際にデザインすることで、エディトリアルデザインの考え方の基礎を段階的に学んでいきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	指導教員
1	9月5日	木		英会話	○	ガイダンス	
	9月12日	木		創形祭準備/科別基礎講評			
2	9月19日	木		英会話	○	課題①の説明と制作	
3	9月26日	木		英会話	○	制作と指導	
4	10月3日	木		英会話	○	制作と指導	
5	10月10日	木		英会話	○	課題②の説明と制作	
6	10月17日	木		英会話	○	制作と指導	
7	10月24日	木		英会話	○	制作と指導	
8	10月31日	木		英会話	○	制作と指導	
9	11月7日	木		英会話	○	課題③の説明と制作	
10	11月14日	木		英会話	○	制作と指導	
11	11月21日	木		英会話	○	制作と指導	
12	11月28日	木		英会話	○	制作と指導	
13	12月5日	木		英会話	○	制作と指導	
14	12月12日	木			○	制作と指導	
	12/14-1/7 冬季休暇						
15	1月9日	木		英会話	○	制作と指導	
16	1月16日	木		英会話	○	制作と指導	
17	1月23日	木		英会話	○	講評	

学習目標

この講座では、3つの課題に段階的に取り組むことで、ブック（本）の構造を深く考え、エディトリアルデザインの基礎の習得を目指します。

予習・準備物

自分が好きな本や雑誌を1冊以上持ってくること。

注意事項

評価方法

提出課題による採点

前期ビジュアルデザイン科基礎

担当教員 田中北斗、岡山拓史、村田秀徳

受講アトリエ [602]

2024/09/02(月)-2024/09/30(月)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

グッズデザイン制作。9/2日~11日までの前半では、創形祭で展示するアイテムを制作予定。

17日以降の後半では、グッズPR関連のデザイン制作を予定。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月2日	月		Mac講座A	○	前半課題 オリエンテーション	田中・岡山・村田
2	9月3日	火		アニメーション基礎	○	制作	田中・岡山
3	9月4日	水	文章技法論/日本語			制作	
4	9月5日	木	英会話	英会話		エディトリアルデザイン基礎	
5	9月6日	金	色彩論		○	デザインチェック&制作	村田
6	9月7日	土		アニメーション基礎		制作	
7	9月8日	日					
8	9月9日	月		Mac講座A		アニメーション基礎	
9	9月10日	火		制作	○	制作	田中・岡山
10	9月11日	水		制作	○	完成	村田
11	9月12日	木		制作 (プリント&仕上げ、射的準備)		制作 (プリント&仕上げ、射的準備)	
12	9月13日	金		制作 (プリント&仕上げ、射的準備)	○	前半課題 講評	田中・岡山・村田
13	9月14日	土		創形祭			
14	9月15日	日		創形祭			
15	9月16日	月		敬老の日			
16	9月17日	火		制作		制作	
17	9月18日	水	文章技法論/日本語		○	後半課題 オリエンテーション	村田
18	9月19日	木	英会話	英会話		エディトリアルデザイン基礎	
19	9月20日	金	色彩論		○	制作	田中・岡山
20	9月21日	土		特待模試			
21	9月22日	日		秋分の日			
22	9月23日	月		振替休日			
23	9月24日	火		アニメーション基礎	○	制作	村田
24	9月25日	水	文章技法論/日本語			制作	
25	9月26日	木	英会話	英会話		エディトリアルデザイン基礎	
26	9月27日	金	色彩論		○	制作	田中・岡山
27	9月28日	土		制作		制作	
28	9月29日	日					
29	9月30日	月		Mac講座A	○	提出・講評会	田中・岡山・村田

学習目標

グッズデザインというジャンルを題材に、デザインの基礎を学びます。

予習・準備物

注意事項

評価方法

授業態度、作品提出、講評での総合評価

1年生 ビジュアルデザイン科

アニメーション基礎

担当教員 飯田 萌

受講アトリエ 【602】

2024/9/3(火)- 2024/10/11(金)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

映像研究と制作（自由な発想で）

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月3日	火	○	オリエンテーション		科別基礎	
2	9月7日	土	○	制作指導		科別基礎	
3	9月9日	月		Mac講座	○	制作指導	
4	9月12日	木		創形祭準備			
5	9月13日	金		創形祭準備			
6	9月14日	土		創形祭			
7	9月15日	日		創形祭			
8	9月16日	月		敬老の日			
9	9月24日	火	○	制作指導		科別基礎	
10	10月1日	火	○	制作指導		科別基礎	
11	10月5日	土	○	制作指導		同窓会イベント	
12	10月11日	金	○	講評会		シルクスクリーン	

学習目標

手描き、コマ撮りなど、自由な表現でアニメーションを制作。

予習・準備物

画材（シャープペン、蛍光ペンはNG。）色鉛筆や太いサインペン。その他使いたい画材を持参。

注意事項

自由度が高い課題ですが、アニメーションは枚数を描かないと動きません。詳しくはガイダンスにて説明しますが、一枚の絵を描き込むのではなく、枚数をたくさん描く課題だと考えておいてください。

評価方法

提出課題による採点

1年ファインアート科

前期ファインアート科別基礎

担当教員 工藤礼二郎、鈴木吐志哉
受講アトリエ [601]

2024/09/02(月)-2024/09/30(月)
9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

- ①用意されたモチーフをよりどころに大型のモノタイプを制作。
- ②創形祭への出品を目標とした自由課題による絵画制作
- ③「風景」をテーマにした絵画制作。写真使用可、但し各自の取材に基づいたオリジナルであること。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月2日	月	○	オリエンテーション/①モノタイプ	○	①モノタイプ	工藤/鈴木
2	9月3日	火		①モノタイプ	○	①モノタイプ	鈴木
3	9月4日	水		文章技法論/日本語 ①モノタイプ	○	①モノタイプ	鈴木
4	9月5日	木		英会話 英会話		②創形祭出品作品制作	
5	9月6日	金		日本美術史A		②創形祭出品作品制作	
6	9月7日	土	○	①創形祭出品作品制作		②創形祭出品作品制作	鈴木
7	9月8日	日					
8	9月9日	月		②創形祭出品作品制作	○	②創形祭出品作品制作	工藤/鈴木
9	9月10日	火		②創形祭出品作品制作	○	②創形祭出品作品制作	工藤/鈴木
10	9月11日	水	○	②創形祭出品作品制作		②創形祭出品作品制作	工藤
11	9月12日	木		創形祭準備			
12	9月13日	金		創形祭準備			
13	9月14日	土		創形祭			
14	9月15日	日		創形祭			
15	9月16日	月		敬老の日			
16	9月17日	火		漫画と絵画 漫画と絵画	○	③風景	工藤/鈴木
17	9月18日	水		文章技法論/日本語		③風景	
18	9月19日	木		英会話 英会話		③風景	
19	9月20日	金		日本美術史A Mac講座A	○	③風景	工藤/鈴木
20	9月21日	土		特待模試			
21	9月22日	日		秋分の日			
22	9月23日	月		振替休日			
23	9月24日	火		漫画と絵画 漫画と絵画	○	③風景	工藤/鈴木
24	9月25日	水		文章技法論/日本語	○	③風景	鈴木
25	9月26日	木		英会話 英会話		③風景	
26	9月27日	金		日本美術史A Mac講座A	○	③風景	工藤
27	9月28日	土		③風景		③風景	
28	9月29日	日					
29	9月30日	月		③風景	○	講評会	工藤/鈴木

学習目標

- ①色インクを使用した大型のモノタイプの制作。数多く制作し、各自の色彩表現の展開を研究する。
- ②創形祭への出品を目標に自主テーマに基づき制作 F8号キャンバス or B3パネル(水張り)
- ③各自の取材に基づいた写真を使用もしくは現場での制作。「見る」「描く」行為を通して「風景」とは何かを思索する

予習・準備物

アクリル、油彩用具など必要に応じて学生が準備する。 キャンバスF8号学生各1枚、モノタイプ版1枚支給。

注意事項

講師の指導日は講師が出席を取りますが、指導日以外でも授業日は助手が出席を取ります。

評価方法

課題提出による採点

1年ファインアート科

漫画と絵画

担当教員 松尾 龍
受講アトリエ 【501】

2024/9/17(火)–10/29(火)
9:20–12:30

授業内容

漫画をテーマにアート作品（平面・立体・インスタレーション・パフォーマンスなど）として自由に作品を制作し、最終日には発表、講評会を行います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月17日	火	○	オリエンテーション		実技カリキュラム（科別）	漫画と絵画についてと授業内容の説明と生徒同士でディスカッション
2	9月24日	火	○	制作指導		実技カリキュラム（科別）	自身の好きな漫画、絵画を分析する
3	10月1日	火	○	制作指導		実技カリキュラム（シルク）	作品の下絵作りから制作を開始
4	10月8日	火	○	制作指導		実技カリキュラム（シルク）	作品制作
5	10月15日	火	○	制作指導		実技カリキュラム（シルク）	作品制作（中間報告）
6	10月22日	火	○	制作指導		実技カリキュラム（フレスコ）	作品制作
7	10月29日	火	○	講評会		実技カリキュラム（フレスコ）	作品を壁に飾りみんなの前で説明する

学習目標

日本の文化で独自の発展を続けている漫画文化、それを「アート」の視点で漫画との関係性や表現方法を考え制作します。

予習・準備物

各自製作に必要な画材

注意事項

特になし

評価方法

授業態度・積極性・達成度 考えたコンセプトを活かした最良の作品が出来たか 他の学生の作品をよく鑑賞、考察することが出来たか。

1年ファインアート科

企画力

担当教員 山口 藍

受講アトリエ [601]

2024/06/7(金)-2024/7/12(金)

13:30-16:30

授業内容

様々なシチュエーションに合わせ企画する力をつけるため、スパイラルチーフキュレーター岡田勉氏による企画の指導を受けながら企画・制作・展示という一連の流れを実際に行います。8月に鶴見にあるギャラリーで展示予定です。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月7日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	オリエンテーション	山口
2	6月14日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	岡田氏自己紹介、サバイバル術	岡田/山口
3	6月21日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	企画の実例：スパイラルの仕事（館内外）、横浜の仕事（象と鶴見、など）	岡田/山口
4	6月28日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作指導	山口
5	7月5日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作指導	山口
6	7月12日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	講評	山口/岡田

学習目標

過去の事例から企画する側/される側の考え方を学び、作品や作家たちの様々な文脈を読み取りながら、自身の作品が社会の中でどのような立場にあるかを考えてみましょう。3回目の授業にて企画展内容の詳細を伝えますので、4回目と5回目の授業にて各自プラン出しや制作する作品のアイデアなどを見ます。また、8月2日から8月16日までを予定している展覧会に向け、授業最終日からは半月ほど時間があるので各自制作に打ち込んでください。

予習・準備物

初回は山口藍の紹介と、学生の自己紹介をしてもらうので、各自プレゼンできるよう一番気に入っている作品などを持参してください。

注意事項

全員で企画していくことになる予定なので遅刻欠席などないように心がけてください。

評価方法

課題提出による採点

1年ファインアート科

表現力

担当教員 須田浩介

受講アトリエ [601]

2024/06/10(月)-2024/7/8(月)

9:20-12:30,13:30-16:30

授業内容

与えられたテーマに対してイラストを制作する上で個々の持つ個性を活かしながらより魅力的な作品表現となる様にテーマに対しての柔軟な捉え方や作品の見せ方コンセプトをよく考えながら自分の表現や世界観に昇華していく為の授業です。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月10日	月	○	オリエンテーションと課題①制作	○	課題①制作2	
2	6月17日	月	○	課題①制作3	○	課題①講評	
3	6月24日	月	○	課題②制作	○	課題②制作2	
4	7月1日	月	○	課題②制作3	○	課題②制作4	
5	7月8日	月	○	課題②制作5	○	課題②講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

学校準備物

課題① シリウス紙八つ切りサイズを5枚 学生人数分(予備にプラス10~15枚くらい)。アクリルガッシュ。

筆、筆洗、紙パレット、筆拭きなど絵の具での描画に必要な画具一式

課題② パネルに水張りして制作予定。

注意事項

出来る限り授業時間内に制作完成させること。

評価方法

課題提出と授業態度で評価する。

表現力

担当教員 片山なのあ

受講アトリエ【602】

2024/04/15(月)-2024/7/8(月)

13:30-16:30

授業内容

表現力は自由な発想のもと、物や事、ストーリーを色と形で表現する授業です。基本を大事にしながらも、固定概念に囚われず、自分だけの表現を見つける授業でもあります。主観と客観の両面から自分の個性を見つめながら、自分の感情や思考を視覚的に表現できる力を養います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	月		MAC講座	○	オリエンテーション	
2	4月22日	月		MAC講座	○	制作1(色彩)	絵の具
3	5月20日	月		MAC講座	○	制作2(形・ディフォルメ)	
4	5月27日	月		MAC講座	○	制作3(大きな絵)	絵の具・B3画用紙
5	6月3日	月		MAC講座	○	制作3(大きな絵)	
6	6月10日	月		MAC講座	○	制作3(大きな絵)・講評	
7	6月17日	月		MAC講座	○	制作4	
8	6月24日	月		MAC講座	○	制作4	
9	7月1日	月		MAC講座	○	制作4	
10	7月8日	月		MAC講座	○	制作4・講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」であるそういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

課題ごとに指示する。

注意事項

出来る限り授業時間内に制作完成させること。

評価方法

課題提出と授業態度で評価する。

1年ファインアート科

観察力

担当 工藤礼二郎 安藤孝浩／美術解剖学 佐藤良孝

受講アトリエ [601] ※501と2アトリエを使用する場合があります 2024/04/16(火)-2024/7/9(火)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

鉛筆、木炭デッサンから始まり、人体デッサン、水彩、油画など絵画表現の基礎を身につける。
課題毎に講評会を行う。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月16日	火	工藤	オリエンテーション/鉛筆デッサン	工藤	鉛筆デッサン	B3画用紙・鉛筆
2	4月23日	火	工藤	講師作品解説/鉛筆デッサン	工藤	鉛筆デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
3	5月7日	火	工藤	デッサン実演/木炭デッサン	工藤	木炭デッサン基礎	木炭紙・木炭
4	5月14日	火	安藤	木炭デッサン	安藤	木炭デッサン	木炭紙・木炭
5	5月21日	火	佐藤	美術解剖学	安藤	人体ヌードクロッキー (男性)	B3クロッキー紙・コンテ
6	5月28日	火	佐藤	美術解剖学	安藤	人体ヌードクロッキー (女性)	B3クロッキー紙・コンテ
7	6月4日	火	安藤	人体ヌードデッサン (男性立像)	安藤	人体ヌードデッサン (男性立像)	木炭紙・木炭or 木炭紙大画用紙・鉛筆
8	6月11日	火	安藤	人体ヌードデッサン (女性坐像)	安藤	人体ヌードデッサン (女性坐像)	木炭紙・木炭or 木炭紙大画用紙・鉛筆
9	6月18日	火	工藤	人体着衣デッサン (女性坐像)	工藤	人体着衣デッサン (女性坐像)	木炭紙・木炭or 木炭紙大画用紙・鉛筆
10	6月25日	火	工藤	水彩画	工藤	水彩画	B3画用紙・パネル・水彩
11	7月2日	火	工藤	基礎油画	工藤	基礎油画	F10キャンバス・油彩
12	7月9日	火	工藤	基礎油画	工藤	基礎油画	F10キャンバス・油彩

学習目標

観察力では単に描写力を鍛えるだけでなく、描くことを通して物事を深く見つめることのできる力を養うことを目標にする。
それはプロの作家として必要かつ重要なことであり、じっくりと物と対話しながら描くことの面白さと大切さを学ぶ。

予習・準備物

注意事項

評価方法

制作態度、提出課題による採点

1年ファインアート科

企画力

担当教員 松蔭浩之

受講アトリエ [601]

2024/04/12(金)-2024/5/31(金)

13:30-16:30

授業内容

企画やアイデアを求められる場面が現代社会では非常に多くなってきました。「企画力」ではアイデアの出し方、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、実現力などクリエイティブの現場で必要となるスキルを課題制作を通して養います。そして社会との繋がりを意識してもらいます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	オリエンテーション / 自己紹介	
2	4月19日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作-1「なにを見つけ、どう撮るか」	
3	4月26日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作-3「組み写真を企てる」	
4	5月10日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作-4「写真を読む」	
5	5月17日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作-5「ないものは写らないのか」	
6	5月24日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	制作-6「コラボレーションによる撮影」	
7	5月31日	金		日本美術史A/Mac講座A	○	「大きな写真」/講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを、「写真を撮る/制作する」ことによって身につける

予習・準備物

生活スタイルが大きく変わった昨今、自分の中で感じたこと、気づいたこと、社会の変化や未来、この課題制作の中で必要になることです。自分の中で整理しておいてください。

注意事項

クリエイティブな現場と同じようにグループで課題制作を進めます。欠席、遅刻をしないよう注意してください。

評価方法

課題提出による採点

社会とクリエイター

担当教員 田中北斗

受講アトリエ [602]

2024/04/12(金)-2024/07/12(金)

11:00-12:30

授業内容

毎回、講義を中心にプロのクリエイターに必要な知識や考え方を養います。授業時間内の後半では、様々なテーマに合わせ、各自の意見やアイデアを文章やラフスケッチなどの提出。発表など行う場合もあります。ゲストを招いたトークセッションでは、プロのクリエイターになるためのプロセスなどを伺います。質問コーナーも予定。

授業スケジュール/計画

			指導		AM	指導	PM	備考
1	4月12日	金	○	色彩論	オリエンテーション 及び 講義			
2	4月19日	金	○	色彩論	講義			
3	4月26日	金	○	色彩論	●クリエイタートーク vol.1			ゲストを招いたトーク
4	5月10日	金	○	色彩論	講義			
5	5月17日	金	○	色彩論	講義			
6	5月24日	金	○	色彩論	●クリエイタートーク vol.2			ゲストを招いたトーク
7	5月31日	金	○	色彩論	講義			
8	6月7日	金	○	色彩論	講義			
9	6月14日	金	○	色彩論	●クリエイタートーク vol.3			ゲストを招いたトーク
10	6月21日	金	○	色彩論	講義			
11	6月28日	金	○	色彩論	講義			
12	7月5日	金	○	色彩論	●クリエイタートーク vol.4			ゲストを招いたトーク
13	7月12日	金	○	色彩論	講義			

学習目標

クリエイターになるための考え方（アイデアや企画）や社会との関わり方、クリエイターの職業や活動スタイルなど、講義やゲストを招いたトークセッションを通して学びます。

予習・準備物

筆記用具：授業の後半に、質問やアイデアなどを「文章・ラフスケッチ」などの形で提出していただくことがあります。

注意事項

評価方法

出席状況をベースに、授業態度 及び 提出物状況による採点

1年ビジュアルデザイン科

構成力

担当教員 田中北斗

受講アトリエ [602]

2024/04/11(木)-2024/7/11(木)

13:30-16:30

授業内容

構成力は「デザイン制作」の基礎となる「構図」「レイアウト」など「組み立てる力」をつける授業です。

同時に「分析や考察」といった作業も行い、どのような構図やレイアウトがベストなのか、制作を通して身につけていきます。一連の制作を体験しながら、自分自身の作品を客観的に評価し学んでいきます。

第1課題「分解と再構成、トリミング」 第2課題「コラージュ」 第3課題「フライヤー分析と再構成」

授業スケジュール/計画

			指導	AM		指導	PM	備考
1	4月11日	木		英語	英語	○	オリエンテーション & 第1課題	講義、課題説明など
2	4月18日	木		英語	英語	○	第1課題 制作 (分解と再構成)	
3	4月25日	木		英語	英語	○	第1課題 制作 (トリミング)	
4	5月9日	木		英語	英語	○	第1課題 講評	作品講評
5	5月16日	木		英語	英語	○	第2課題 (コラージュ) 説明 & 実習	各自コラージュ素材を持参
6	5月23日	木		英語	英語	○	第2課題 制作	
7	5月30日	木		英語	英語	○	第2課題 制作	
8	6月6日	木		英語	英語	○	第2課題 講評	作品講評
9	6月13日	木		英語	英語	○	第3課題 (フライヤー) / 分解・分析	各自フライヤーを持参
10	6月20日	木		英語	英語	○	第3課題 制作 (アイデアスケッチ)	
11	6月27日	木		英語	英語	○	第3課題 制作 (構築・表現)	
12	7月4日	木		英語	英語	○	第3課題 制作 (検証・評価)	
13	7月11日	木		英語	英語	○	第3課題 講評	作品講評

学習目標

基礎力をしっかり身に付けることで、2年、3年の専門課程ができるようになります。「構成力」は、表現においてのカタチの形成・構図・レイアウトなどに関わる重要な基礎の力です。デザインの基礎的な事や考え方を学ぶことを目標とします。

予習・準備物

普段で使用している使いやすい画材があれば持参してください。 その他、随時学校側で用意します。

注意事項

- 制作本来の目的を意識し、事前の準備をしっかり行いましょう。
- 遅刻・欠席が無いように注意しましょう。
- 提出物の期限を守りましょう。
- アトリエはキレイに使いましょう。
- 授業・課題制作を楽しみましょう。

評価方法

制作態度・積極性60% (課題作品の完成度はもちろん、演習を期限内に提出することを最低基準とします) 課題作品40%

技法力

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ [601、602、他]

2024/4/10(水)-2024/7/10(水)

11:00 - 16:30

授業内容

技法力は様々な版画の技法から生まれる表現を体験しながら探る授業です。まずフロッタージュから始まりモノタイプやシルクスクリーンなど、直接描くことでは得られない間接表現の魅力を学びます。
さらに本校収蔵の葛飾北斎「神奈川冲浪裏」復刻版の版木をキーワードにして自由な表現による木版画、コラージュへと展開させてゆきます。

授業スケジュール/計画

			AM 1限	指導	AM 2限	PM 3限	PM 4限	備考
1	4月10日	水	文章技法論	○	版画のいろいろ～フロッタージュについて	フロッタージュ制作		
2	4月17日	水	文章技法論	○	モノタイプ(トランスファー技法)について	モノタイプ(トランスファー技法)制作		
3	4月24日	水	文章技法論	○	モノタイプ(カラー)について～制作	モノタイプ(カラー)制作		
4	5月8日	水	文章技法論	○	シルクスクリーンについて～原稿制作	シルクスクリーン原稿制作		
5	5月15日	水	文章技法論	○	シルクスクリーン制作(刷り)	シルクスクリーン制作(刷り)		
6	5月22日	水	文章技法論	○	モノタイプ(スクラッチ技法)について	モノタイプ(スクラッチ技法)制作		
7	5月29日	水	文章技法論	○	シリコンリトグラフについて～制作	シリコンリトグラフ制作(描画)		
8	6月5日	水	文章技法論	○	シリコンリトグラフ制作(刷り)	シリコンリトグラフ制作(刷り)		
9	6月12日	水	文章技法論	○	木版画 (正方形の版木を使って) (北斎版木摺り体験)	木版画 (正方形の版木を使って) (北斎版木摺り体験)		
10	6月19日	水	文章技法論	○	木版画 (正方形の版木を使って) (北斎版木摺り体験)	木版画 (正方形の版木を使って) (北斎版木摺り体験)		
11	6月26日	水	文章技法論	○	木版画 (正方形の版木を使って) (北斎版木摺り体験)	木版画 (正方形の版木を使って) (北斎版木摺り体験)		
12	7月3日	水	文章技法論	○	木版画 (正方形の版木を使って) (コラージュ) (北斎版木摺り体験)	木版画 (正方形の版木を使って) (コラージュ) (北斎版木摺り体験)	(学生準備物) ハサミ カッター	
13	7月10日	水	文章技法論	○	講習会	講習会		

学習目標

この授業では様々な版画の技法を体験します。版画で遊びながら「技法の力」を実感し、自分のイメージを展開、成長させることをこの授業の最大目的とします。
そして版画というフィルターを通すことで、自分の作品の別の顔に出会うことを目標とします。

予習・準備物

●鉛筆、ノート等の筆記用具 ●エプロン等の汚れても大丈夫な服装

注意事項

7月10日に講習会を行います。制作した自分の作品を支給したデザインケースできちんと管理しておいてください。

評価方法

授業での積極性50% 提出課題50%

評価方法

提出課題の評価による平常点で行う。

1年ファインアート科

MAC講座A

担当教員 濱迫 萌

受講アトリエ [401]

2024/04/12(金)-2024/09/27(金)

11:00-12:30

授業内容

前期では基礎的なPCの使い方、IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識、技術を身につけるための授業を行います。

授業スケジュール/計画

				AM	指導	PM	備考
1	4月12日	金	○		オリエンテーション	企画力	
2	4月19日	金	○		データ作成の基礎	企画力	
3	4月26日	金	○		Illustrator基礎	企画力	
4	5月10日	金	○		Illustrator基礎	企画力	
5	5月17日	金	○		Illustrator基礎	企画力	
6	5月24日	金	○		Illustrator基礎	企画力	
7	5月31日	金	○		名刺制作	企画力	
8	6月7日	金	○		名刺制作	企画力	
9	6月14日	金	○		名刺制作	企画力	
10	6月21日	金	○		名刺制作(提出)	企画力	データ・出力どちらも提出
11	6月28日	金	○		お散歩ビンゴ	企画力	グループワーク (写真素材集め)
12	7月5日	金	○		お散歩ビンゴ	企画力	
13	7月12日	金	○		お散歩ビンゴ	企画力	
14	9月20日	金	○		Photoshop基礎	企画力	
15	9月27日	金	○		Photoshop基礎	企画力	

学習目標

まずはPCに慣れ、何が出来るのかを知ることからはじめます。

印刷物(紙媒体)をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。

予習・準備物

筆記用具・USB

注意事項

授業スケジュールは、進み具合により前後します。

評価方法

授業態度および提出課題による採点。

日本画

担当教員 小林大悟

受講アトリエ [601]

2024/04/13(土)-2024/7/13(土)

9:20-12:30

授業内容

触れる機会の少ない「日本画」材料の基礎を学んでいきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	土	○	オリエンテーション		自由研究	
2	4月20日	土	○	墨を研究しよう		自由研究	
3	5月11日	土	○	鳥獣戯画で遊ぼう		自由研究	
4	5月18日	土	○	美術館見学		自由研究	課外授業
5	5月25日	土	○	日本画体験		自由研究	
6	6月1日	土	○	日本画制作		自由研究	
7	6月8日	土		自由研究	○	日本画制作	
8	6月15日	土	○	日本画制作		自由研究	
9	6月22日	土	○	講評/鑑賞会		自由研究	
10	6月29日	土		自由研究	○	銀箔実験	
11	7月6日	土	○	グッズ制作		自由研究	
12	7月13日	土	○	グッズ制作/鑑賞会		自由研究	

学習目標

敷居が高い日本画の画材へのハードルを下げながら、画材の体験と制作を行います。

親しみやすいテーマを取り入れる事で楽しみながら画材に触れ、日本画への興味と今後の制作への応用に繋がる事を目指します。

予習・準備物

筆記用具、汚れても良い服装

注意事項

対面授業は進行状況を鑑みて、内容の前後や多少の変更もあります。（オンライン授業日は原則変更しません）

評価方法

参加意欲と授業態度を重視します。

1年ビジュアルデザイン科

写真基礎演習

担当教員 藤本 陽

受講アトリエ [401]

2024/04/13(土)-2024/6/1(土)

*VD科は受講数によりAグループとBグループに分けて授業を行います。

9:20-10:50/11:00-12:30

授業内容

写真撮影を試みる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	土	○	授業説明と課題について			
2	4月20日	土	○	撮影(街歩き)とデータ保存			
3	5月11日	土	○	画像編集とLrcの説明			
4	5月18日	土	○	撮影(明日館か目白庭園)とデータ保存			
5	5月25日	土	○	画像編集とプリント			
6	6月1日	土	○	発表会			

学習目標

なるべく沢山の写真からより良い写真を選ぶことを覚える。

予習・準備物

パソコンへのデータ移動用のUSBメモリー・カメラとして機能する物(スマートフォンや一眼レフなど)
カメラを持っている学生は自分のものを使用しても大丈夫です。

注意事項

適切な言動を求めます。理由が不適切な遅刻や怠惰など、また他人に対する不適切や不愉快な言動などがあれば評価をいたしません。

評価方法

参加意欲・授業態度(50%)と制作物(50%)

1年ビジュアルデザイン科

MAC講座A

担当教員 高林直俊

受講アトリエ [401]

2024/04/15(月)-2024/09/30(月)

*VD科は受講数によりAグループとBグループに分けて授業を行います。

9:20-10:50/11:00-12:30

授業内容

Mac講座A(前期)では、Macの基本的な操作方法とIllustrator & Photoshopの基本操作・知識・制作技術を学んでいきます。この2つのアプリケーションは3年間の各講座、そしてデザイン業界では必要最低限のアプリケーションとなります。この2つが扱えない＝デザイン系会社への就職はほぼ不可能だと思しますので、まずは前期でしっかりと基礎を学びましょう。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	月	○	オリエンテーション		表現力	自己紹介・一年間の流れ
2	4月22日	月	○	Macに触れてみよう		表現力	
約1ヶ月間 授業なし							
3	5月20日	月	○	Illustratorに触れてみよう		表現力	
4	5月27日	月	○	Photoshopに触れてみよう		表現力	
5	6月3日	月	○	Illustrator_基礎①		表現力	基礎操作、ツール、図形、イラスト 文字の扱い方、印刷知識など
6	6月10日	月	○	Illustrator_基礎②		表現力	
7	6月17日	月	○	Photoshop_基礎①		表現力	基礎操作、ツール、画像処理 コラージュ・合成
8	6月24日	月	○	Photoshop_基礎②		表現力	
9	7月1日	月	○	Illustrator_課題		表現力	
10	7月8日	月	○	Photoshop_課題		表現力	
夏休み							
11	9月2日	月	○	総合課題_出題		表現力	
12	9月9日	月	○	総合課題_提出		表現力	
約20日間 授業なし							
13	9月30日	月	○	課外授業予定		表現力	

学習目標

プロのイラストレーターやデザイナーなど、デザイン業界に携わる際に、印刷物（紙媒体）をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。また自己アピールの際にポートフォリオ作成に必要な最低限の操作技術も身につけます。

予習・準備物

毎授業USBメモリは必須となります。筆記用具等

注意事項

月曜午前授業となりますので、出席率低下が懸念されます。この授業を蔑ろにしまうと全ての授業で困ってしまいますので、デザイナーやイラストレーターを目標にしている生徒さんは休まずに参加してください。全然厳しい授業ではありませんので。

評価方法

制作態度 80% 課題作品 20%

1年ビジュアルデザイン科

観察力

担当教員 関根秀星

受講アトリエ [602]

2024/04/16(火)-2024/7/9(火)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

デッサン・クロッキーの、基礎から応用。

課題毎にデモストや講評を行い、より深い理解へと繋げる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月16日	火	○	オリエンテーション/グレースケール	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
2	4月23日	火	○	静物デッサン基礎	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
3	5月7日	火	○	静物デッサン基礎	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
4	5月14日	火	○	人体デッサン・手	○	人体デッサン・手	B3画用紙・鉛筆
5	5月21日	火	○	想定デッサン	○	想定デッサン	B3画用紙・鉛筆
6	5月28日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
7	6月4日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
8	6月11日	火	○	人物クロッキー	○	人物クロッキー	木炭紙大クロッキー帳、画用紙等/鉛筆、木炭等
9	6月18日	火	○	人体デッサン・自画像	○	人体デッサン・自画像	B3画用紙・鉛筆
10	6月25日	火	○	人体デッサン・自画像	○	人体デッサン・自画像	B3画用紙・鉛筆
11	7月2日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
12	7月9日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆

学習目標

イラストレーションやデザインや絵画や立体等々、クリエイターの表現方法は多岐にわたるが、全ての表現に共通する大前提の過程として、表現する対象を深く、多角的に理解する"インプット"の質が求められる。

デッサンやクロッキーを通して、モノの本質的、外見的な観察力を養い、表現者としての基礎体力をつける。

予習・準備物

・デッサン用具一式 ・これまでの課題制作物、自主制作作品 ・各課題において、各自準備物を別途指示

注意事項

評価方法

制作態度、提出課題による採点

1年ビジュアルデザイン科

映像ワークショップ

担当教員 三田村光土里

受講アトリエ [602]

2024/06/8(土)- 2024/07/13(土)

9:20-12:30

授業内容

フォト・ストーリーをつくろう

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月8日	土	○	オリエンテーション			
2	6月15日	土	○	制作			
3	6月22日	土	○	制作			
4	6月29日	土	○	制作			
5	7月6日	土	○	制作			
6	7月13日	土	○	講評			

学習目標

現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。

予習・準備物

授業内で指示。デジタルカメラ（スマホ搭載機能でも可）

注意事項

グループ学習なので、出席とメンバーとのコミュニケーションに心がける。

評価方法

提出物・授業態度で総合的に判断